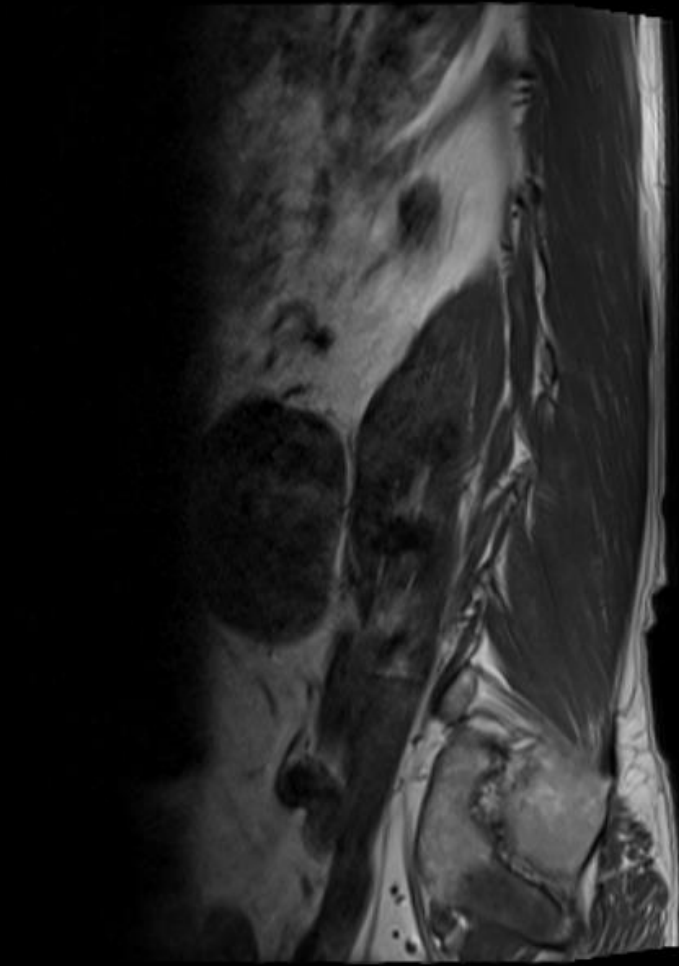
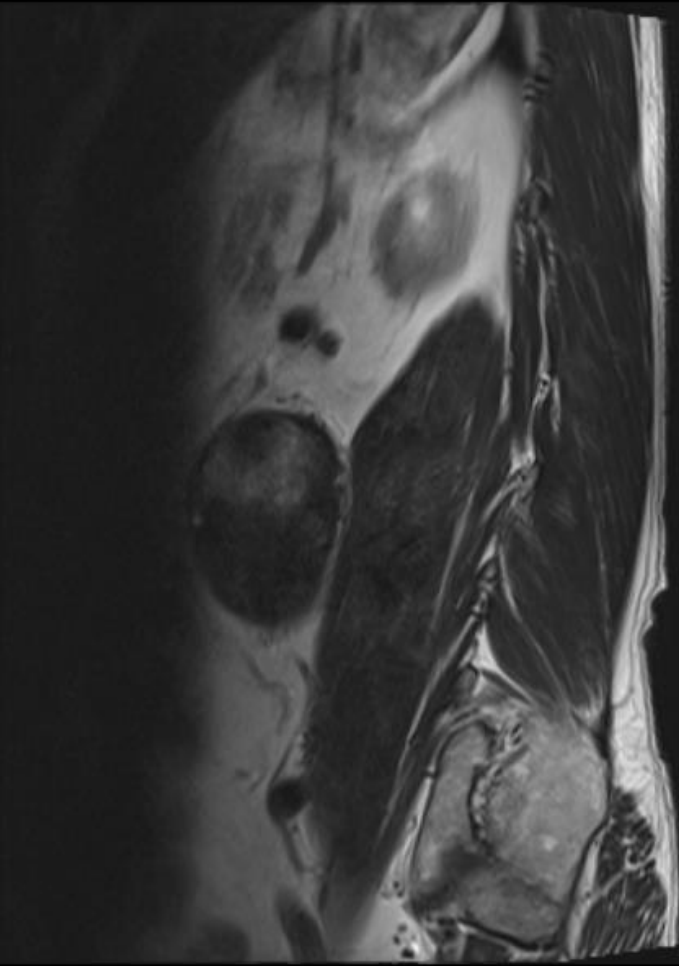


# 画像のページング

青木茂樹

# 例題1 Paging

- 72歳 男性
- 突然の背部痛のため来院した。下肢の疼痛や筋力低下はなく、下肢伸展挙上テスト(SLRテスト)を含めた神経学的症状はみられない。
- 血算生化学検査では高脂血症が見られた。ほかに、特記すべき所見はなかった。
- 過去に腹部超音波検査で腎のう胞を指摘されている。その他に、特記すべき既往歴はない。
- 腰椎MRIを以下に示す。
  
- まず行うべき検査として適切なものを選び。
  1. FDG-PET
  2. 胸腹部造影CT
  3. 肝dynamic MRI
  4. 腰椎単純X線写真
  5. 経静脈性腎盂尿管造影





## 例題2 ページング

60歳女性。慢性B型肝炎で肝細胞癌スクリーニング  
目的に造影CTを施行された。咳もあるということで、  
dynamic CTのあとに、胸腹部CTが行われた。  
異常所見があるスライスはどれか。

先日おくれた。左胸

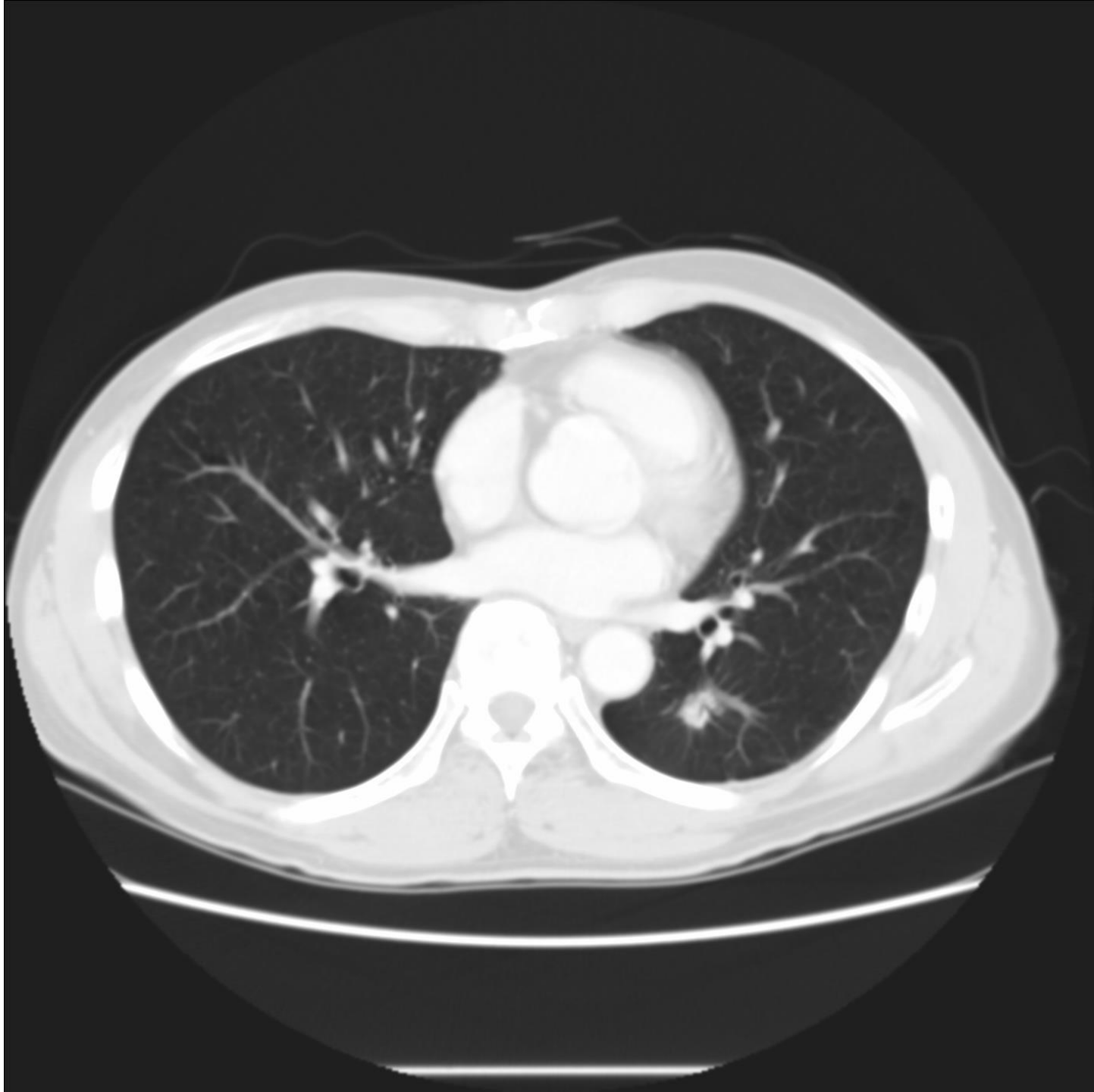


## 例題4 フォルダ

50歳男性。

会社の健康診断の胸部X線写真にて異常を指摘された。病変のある部位はどこか。

- a. 右上葉
- b. 右中葉
- c. 右下葉
- d. 左上葉
- e. 左下葉





# 例題4 難 movie→今回送れず

- 70歳男性
- 直腸がんに対するMiles術・人工肛門増設術後で、外来フォローされていた。
- 歩行中に自転車に衝突し、自転車のハンドルに腹部を強く打撲した。そのまま倒れこみ、目撃者が通報。当院に救急搬送となった。血圧100/75mmHg、HR95、SpO296% 体温36.8度
- 血算生化学所見で特記すべき事項はないが、尿潜血(++)
- 以下のうちで、この症例に関して正しい記述はどれか

1. 胸腔ドレナージが必要である
2. 肝病変に対して、経動脈的動注化学療法が有効である
3. 左腎腫瘍がある
4. 腹水は血性の可能性が高い
5. 脾破裂の可能性はある